

【ST-121-19-001】 変更前の製品を継続してお使いいただくための修正方法

① 源泉

扶養控除等の申告	申告の有無		控除対象配偶者 一般 老人		一般の控除対象扶養親族		特定扶養親族		老人扶養親族 同居老親等 その他		障害者等 (該当するものを○で開んでください。)		従たる給与から控除する控除対象配偶者と控除対象扶養親族の合計数	
	当初有	当初無	当初有	当初無	当初人	当初人	当初人	当初人	当初人	当初人	一般の障害者 本人・配・扶(人)	特別障害者 本人・配・扶(人)	同居特別障害者 配・扶(人)	当 初
	有・無	有・無	有・無	有・無	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
年 末 調 整	区 分		金 額				税 額							
	給 料 ・ 手 当 等		①				③							
	賞 与 等		④				⑥							
	計		⑦				⑧							
	給与所得控除後の給与等の金額		⑨				配偶者の合計所得金額 (円)							
	社会保 険料等 控除額	給与等からの控除分(②+⑤)	⑩				旧長期損害保険料支払額 (円)							
		申告による社会保険料の控除分	⑪											
	生命保 険料の 控除額	申告による小規模企業 共済等掛金の控除分	⑫				⑩のうち小規模企業共 済等掛金の金額 (円)							
		生命保険料の控除額	⑬											
	地震保 険料の 控除額	地震保険料の控除額	⑭				⑪のうち国民年金保 険料等の金額 (円)							
		配偶者(特別)控除額	⑮											
	③	配偶者控除額、扶養控除額、基礎控 除額及び障害者等の控除額の合計額	⑯											
		所得控除額の合計額 (⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰											
	調	差引課税給与所得金額(⑨-⑰) 及び算出所得税額	⑱(1,000円未満切捨て)				⑲							
		(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額					⑳							
整	年調所得税額(⑲-⑳、マイナスの場合は0)					㉑								
	年調年税額(㉑×102.1%)					㉒(100円未満切捨て)								
の 精 算	差引超過額又は不足額(㉒-⑧)					㉓								
	超 過 額	本年最後の給与から徴収する税額に充当する金額					㉔							
		未払給与に係る未徴収の税額に充当する金額					㉕							
		差引還付する金額(㉓-㉔-㉕)					㉖							
	不 足 額 の 精 算	同上的	本年中に還付する金額				㉗							
うち		翌年において還付する金額				㉘								
の 精 算	不 足 額 の 精 算	本年最後の給与から徴収する金額				㉙								
		翌年に繰り越して徴収する金額				㉚								

式は、平成24年9月1日現在の所得税法等関係法令の規定を参考に作成してあります。

- ① “扶養控除等の申告”欄 「控除対象配偶者」冒頭に「源泉」を追記する
- ② “年末調整”欄 「配偶者特別控除額」部分、特別に「()」を追記
- ③ “年末調整”欄「配偶者控除額、扶養控除額、、、」部分の「配偶者控除額」を削除